

たのしい

2018.7.19

サイエンス通信 (10)

分数の読み方書き方

分数 $\frac{3}{5}$ は読めますか？まあ大丈夫でしょう。「5分の3」ですね。下から上に読みます。下の数を分母、上の数を分子といいます。母が子を支えているといったイメージでしょうか。じゃあ分数の真ん中の線を何というか知っていますか？実はあれは「括線 (かっせん)」というのです。昔習った覚えがあるのですが、今はやってないのかな？で、書くときは読むときと同じ、下から上に書くのです。書き順なんて本当は無いらしいのですが、やはり読む順番に書くのが妥当かな。ただ、本当に読む順番で書いてしまうと「分母→括線→分子」なのだが、どうも括線を先に書いた方がバランスを取りやすい。実際学校では「括線→分母→分子」という書き方で指導されているらしい。

でも昔から思っていたのですが、流れから行くと上から書く方が自然かなと思うことも多い。上から書きちゃまずいのか。まあ調べてみたらそんなことはないのですが、「声に出しながら書くと」自然にまず分母を書いてから括線、最後に分子となりますね。

分数を英語で読んであげましょう。 $\frac{3}{5}$ は"three fifths"。上から下へと読んでいきますね。日本語で言えば「3つ、5分の」という感じでしょうか。だいたい英語ってそんな感じですね。最初に大事な主語述語をパパッと行ってそれについての細かい説明は後で言う (I bought a white bag which made in Italy.)。日本語じゃ述語は最後に締める言葉として、それまでに付随する情報は先に言うので（私はイタリア製の白いかばんを買った）。分子は普通の数字（基数）で、分母は何番目とかを表す数字（序数）で読みます。分子が2以上だったら序数を複数

形にします（例では fifth"s"）。当然書くときなんか上から書くのでしょう。また、複雑な式の場合は（分子）over（分母）という表現をします。 $\frac{355}{113}$ は 355 over 113 と言います。前者の表現では特に言葉にはしないが分子と分母を読む間に括線が引け、後者では over のタイミングで括線が引けるのでしょうか。個人的には上から読んで書く英語の方が効率的に思えるのですが皆さんはいかがでしょう。

ちなみに他の言語はどうなっているのでしょうか。3/5 で見てみます。さくつと調べられる範囲でだけなので少しだけですが。

フランス語：trois cinquièmes 英語と全く同じ構造ですね。
ドイツ語：Drei Fünftel 英語と同じ構造。分母は序数に"l"をつける。
スペイン語やイタリア語も英語と同様。欧米では英語と同じようなのかな。

中国語：五分之三 全く日本語と同じ
韓国語：오분의사 全く日本語と同じ
東アジアは東アジアで同じみたい。どうやら西欧では上から下、東アジアでは下から上という法則がありそうですね。他の地域ではどうなっているのでしょうか。

タイ語：สาม ส่วน ห้า 「分子3分母5」という読み。上から下ですね。西欧型。
アラビア語：سأخما ثلاثة لآنة アラビア語って右から左に読むのですよね（数字の綴りは左から右）。なので「1/5」が3つという読みになります。東アジア型。

申し訳ありません。私が調べられたのはこれだけです。他にも面白い表し方をしている言語があるかもしれませんね。なお、こちらのサイトには $\frac{2}{3}$ についていくつかの言語で書かれています。

<http://w01.i-next.ne.jp/~g140179870/bunsu.html>

細かい語尾の変化が各国異なりますね。 (逸)